

第 155 回日本獣医学会学術集会
日本比較薬理学毒性学会 拡大評議員会 議事録

2013 年 3 月 29 日（日） 13:30～ 東京大学教養学部 第 4 会場

(出席教員) (敬称略)

伊藤、堀、村田、尾崎、池中、石塚、室井、高橋、園田、浅井、山口、乙黒、白石、金田、中山、東、中嶋、佐藤、山脇、大濱、下田、佐々木 (一)、太田、鎌田、原、白井、石井、松尾、中川、西村

1. 第 154 回日本獣医学会学術集会 (岩手) での日本比較薬理学毒性学会拡大評議員会議事録が承認された
2. 日本比較薬理学毒性学会 会長は、尾崎会長 (東京大学) が降任し、後任として竹内正吉教授 (大阪府立大学) が選出された。任期は、H25.4.1～H28.3.31 の 3 年間とする。
3. 全国大学獣医学関係代表者協議会の報告
 - ・伊藤先生 (北大) より全国協議会での協議事項について、vetCBT ならびに vetOSCE の準備状況、共用テキストの作成進捗状況、第三者評価委員会などについての概要が報告された。
3. 国公立大学獣医学協議会の報告
 - ・尾崎先生 (東大) より国公立協議会での協議事項について報告があった。特に、第三者評価を大学基準協会に依頼しているがその評価に要する費用が高額であり国公立大学にとっては大きな問題であること、ICT 教材の共有化の模索、などについて報告された。
4. 私立大学獣医学協議会の報告
 - ・堀 (東大) より政岡先生 (麻布大) から預かったメモをもとに報告がなされた。
5. 第 155 回日本獣医学会学術集会獣医学会評議員会の報告
 - ・公益法人化に伴う各分科会の組織体制、ならびに会計制度変更について説明があった。特に、来年より獣医学会学術集会が年 1 回の秋開催となることから、会計会期が H25.2～H26.1、H26.2～H26.7 中旬、H26.7 中旬～H27.7 中旬、と変則会期となる。
6. 臨床薬理学共用テキスト作成作業について
 - 堀 (臨床薬理学共用テキスト編集副委員長) より、コアカリ準拠臨床薬理学共用テキスト作成作業について説明がなされ、承認された。小動物臨床の單元については獣医・毒性分科会の教員で執筆し、産業動物ならびに馬の單元については、他の分科会教員ならびに大学外の執筆者で構成され、最終的には編集委員 8 名に

より、編集作業を行うことで対応する。できあがりは H26 年夏の予定。

7. 会計報告

- ・堀（東大）より H24 年度の会計報告がなされ承認された。

8. 新任教員紹介など

北里大学 獣医薬理学教室 原幸男教授 退職

北里大学 獣医毒性学教室 天間恭介教授 退職

北海道大学 獣医毒性学教室 中山翔太先生（助教）着任

北海道大学 獣医薬理学教室 山口聡一郎先生（助教）着任

9. その他

次回開催日程 第 156 回日本獣医学会学術集会（岐阜大学）H25.9.20～22 日
（薬理毒性関係は初日と二日目を予定）

第 157 回日本獣医学会学術集会（北海道大学）H26 年秋に開催